



# 新たな市政、はじまる。



## 中野市長選挙 結果

(11月15日投・開票)

有権者数	36,627人
男	17,818人
女	18,809人
投票者数	17,327人
男	8,562人
女	8,765人

投票率	47.31%
男	48.05%
女	46.60%

有効投票	17,177票
無効投票	150票
持ち帰りなど	0票

### 候補者別投票数(得票順)

湯本 隆英	8,868票
池田 茂	8,309票

任期満了に伴う中野市長選挙は11月8日に告示され、立候補届け出締め切りの午後5時までに、湯本隆英さん(笠原・62歳)、池田茂さん(中央一丁目・67歳)2名の立候補の届け出がありました。11月15日に投・開票が行われ、湯本隆英さんが初当選し、翌日16日には、市選挙管理委員会より当選証書が付与されました。

11月24日、湯本市長が初登庁し、市役所玄関前に集まった市民の皆さんや市職員らの拍手で迎えられました。続いて行われた就任式では、職員に対し「政策の4つの柱『安心・子育て』『農業王国』『経済活性化』『交流・人材』を軸に、『住みよさで選ばれる』中野市を目指します。『わかりやすく・すばや



▲ 11月16日、当選証書が付与されました

く・ていねいな市政』をワンチーム・全集中で作っていきましょう」と、あいさつしました。

その後は、就任記者会見の他、北信広域連合長、北信保健衛生施設組合長、岳南広域消防組合長として職員に対し訓示を行うなど、初日から精力的に公務をこなしました。



# 就任のごあいさつ

中野市長 湯本隆英

このたび、多くの市民の皆さまの温かいご支援を賜り、「第五代の中野市長」に就任させていただきました。こうして、中野市政の舵取り役を任せていただいたことに対し、その責任の大きさをひしひしと感じております。

さて、私の政策のモットーは、「わかりやすく・すばやく・いいねいな市政」です。

市が取り組んでいくさまざまな政策については、市民の皆様には「わかりやすく」説明し、「すばやく」実行しますが、そこは「いいねいに」進めてまいります。

昨年の令和元年東日本台風災害、そして新型コロナウイルス感染症によって時代が大きく変わっております。特に新型コロナウイルスでは世界中が大きく変わっております。しかしながら、私たちの

中野市は、豊かな自然環境、そして、農業が盛んで、工業、商業などもパランスの良い都市であり、高速道路のインターチェンジが2つある交通の便の良し、「ふるさと信州中野」であります。コロナ禍で注目を浴びているテレワークや移住においては、中野市には大きなチャンスがあると考えております。そのためにも、まずは、今住んでいる方々に「住んでいてよかった」と思っていただけのように、特に子育て施策をより充実させて「住みよさで選ばれる」中野市にするため取り組んでまいります。

私は次の四つの基本政策により、未来の中野市を今、育むために、その先頭に立って全力で取り組んでまいります。

「安心・子育て」  
若い世代が移住したい中野市に

「農業王国」  
おいしい健康で誇れる中野市に

「経済活性化」  
郷土の宝で外貨獲得、豊かな中野市に

「交流・人材」  
交流と人材で輝く中野市に

私は、信頼される行政運営に努めるとともに、すべての市民の皆さまが笑顔にあふれ、将来に希望を持てる中野市の実現に向け、誠心誠意努力していきます。市民の皆さま方におかれましては、格段のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



▲ 11月24日 就任記者会見の様子